

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	こどもリハビリテーション支援専攻科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児リハビリテーション研究法 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	こどもリハビリテーション支援専攻科	学 期	前期	教室名	1003教室
担 当 教 員	林 亜遊				
実務経験と その関連資格	実践:作業療法士として精神科病院で5年勤務。精神障害者に対する地域における作業療法を15年以上実践。 資格:認定作業療法士・教育修士(専門職)・認定医学教育専門家。ICR臨床研究入門 臨床研究の基礎知識講座、 日本学術振興会研究倫理eラーニングコース修了。 発表:日本作業療法学会、近畿作業療法学会、大阪作業療法学会、日本医学教育学会大会などで学会発表、論文 発表など30編以上発表。 役員:作業療法と生活リスクコミュニケーション学会理事・日本作業療法教育学会理事。日本作業療法学会・近畿 作業療法学会・大阪府作業療法学会・日本医学教育学会大会・リハビリテーション教育研究で演題査読員。日本作 業療法学会座長。作業療法教育学会で論文査読員。臨床実習指導者講習会講師・ファシリテーター。現職者共通 研修講師。				
《授業科目における学習内容》					
小児領域の現場における問題を多職種連携を以てを解決するために実践研究の計画を立案する。					
《成績評価の方法と基準》					
研究計画書の作成、発表およびそれらにまつわる行動評価					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
参考図書:理学療法研究法、作業療法研究法					
《授業外における学習方法》					
現場の問題に関して関心を持ち、文献を読む、先輩の話を聞く、現場の先生に聞く、学生同士のディスカッションを重ねるなど行ってください。					
《履修に当たっての留意点》					
データの保管も研究においてとても重要です。各データの取り扱いに注意し履修してください。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第 1 回	授業を通じての到達目標	研究を理解する	テキスト 配布資料 パソコン	研究テーマを探す	
	各コマにおける授業予定	研究とは、研究の展開、研究に取り組むには			
第 2 回	授業を通じての到達目標	臨床倫理と研究倫理	テキスト 配布資料 パソコン	研究テーマを探す	
	各コマにおける授業予定	臨床倫理とは、研究倫理とは、倫理審査委員会、インフォームドコ ンセント			
第 3 回	授業を通じての到達目標	臨床疑問と研究の種類	テキスト 配布資料 パソコン	研究チームを探す	
	各コマにおける授業予定	研究の種類、研究倫理			
第 4 回	授業を通じての到達目標	研究の実践を知る①	テキスト 配布資料 パソコン	研究チームを探す	
	各コマにおける授業予定	昨年度の卒業研究発表を行う			
第 5 回	授業を通じての到達目標	研究の実践を知る②	テキスト 配布資料 パソコン	指導教員を決める	
	各コマにおける授業予定	昨年度の卒業研究発表を行う			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	研究対象者の選定	テキスト 配布資料 パソコン	先行研究を探す
	各コマにおける授業予定	母集団と研究対象集団、包含基準と除外基準、サンプリング、リクルート		
第7回	授業を通じての到達目標	アウトカム	テキスト 配布資料 パソコン	先行研究を探す
	各コマにおける授業予定	アウトカムの指標		
第8回	授業を通じての到達目標	研究テーマに関する先行研究をまとめる	テキスト 配布資料 パソコン	発表資料を作成する
	各コマにおける授業予定	文献研究		
第9回	授業を通じての到達目標	研究テーマに関する先行研究をまとめる	テキスト 配布資料 パソコン	発表資料を作成する
	各コマにおける授業予定	文献研究		
第10回	授業を通じての到達目標	研究テーマに関する先行研究をまとめる	テキスト 配布資料 パソコン	先行研究を探す
	各コマにおける授業予定	文献研究発表会①		
第11回	授業を通じての到達目標	研究テーマに関する先行研究をまとめる	テキスト 配布資料 パソコン	研究計画書を作成する
	各コマにおける授業予定	文献研究発表会②		
第12回	授業を通じての到達目標	研究計画の立案	テキスト 配布資料 パソコン	研究計画書を作成する
	各コマにおける授業予定	研究計画計画書		
第13回	授業を通じての到達目標	研究の種類とデザイン①	テキスト 配布資料 パソコン	研究計画書を作成する
	各コマにおける授業予定	量的研究		
第14回	授業を通じての到達目標	研究の種類とデザイン②	テキスト 配布資料 パソコン	研究計画書を作成する
	各コマにおける授業予定	調査票の設計、予備調査		
第15回	授業を通じての到達目標	研究の種類とデザイン③	テキスト 配布資料 パソコン	研究計画書を作成する
	各コマにおける授業予定	質的研究の目的と方法		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	こどもリハビリテーション支援専攻科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児リハビリテーション研究法Ⅰ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	こどもリハビリテーション支援専攻科	学 期	前期	教室名	1003教室
担 当 教 員	林 亜遊				
実務経験と その関連資格	<p>実践:作業療法士として精神科病院で5年勤務。精神障害者に対する地域における作業療法を15年以上実践。 資格:認定作業療法士・教育修士(専門職)・認定医学教育専門家。ICR臨床研究入門 臨床研究の基礎知識講座、 日本学術振興会研究倫理eラーニングコース修了。 発表:日本作業療法学会、近畿作業療法学会、大阪作業療法学会、日本医学教育学会大会などで学会発表、論文 発表など30編以上発表。 役員:作業療法と生活リスクコミュニケーション学会理事・日本作業療法教育学会理事。日本作業療法学会・近畿 作業療法学会・大阪府作業療法学会・日本医学教育学会大会・リハビリテーション教育研究で演題査読員。日本作 業療法学会座長。作業療法教育学会で論文査読員。臨床実習指導者講習会講師・ファシリテーター。現職者共通 研修講師。</p>				
《授業科目における学習内容》					
小児領域の現場における問題を多職種連携を以てを解決するために実践研究の計画を立案する。					
《成績評価の方法と基準》					
研究計画書の作成、発表およびそれらにまつわる行動評価					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
参考図書:理学療法研究法、作業療法研究法					
《授業外における学習方法》					
現場の問題に関して関心を持ち、文献を読む、先輩の話を聞く、現場の先生に聞く、学生同士のディスカッションを重ねるなど行ってください。					
《履修に当たっての留意点》					
データの保管も研究においてとても重要です。各データの取り扱いに注意し履修してください。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第 1 6 回	授業を通じての到達目標	研究計画の内容を深める①	テキスト 配布資料 パソコン	研究計画書を発表する	
	各コマにおける授業予定	研究計画書の途中計画を発表する			
第 1 7 回	授業を通じての到達目標	研究計画の内容を深める①	テキスト 配布資料 パソコン	研究計画書を発表する	
	各コマにおける授業予定	研究計画書の途中計画を発表する			
第 1 8 回	授業を通じての到達目標	研究計画を完成させる③フィードバックを受ける	テキスト 配布資料 パソコン	研究計画書を作成する	
	各コマにおける授業予定	研究計画書の内容についてフィードバック			
第 1 9 回	授業を通じての到達目標	研究の種類とデザイン④	テキスト 配布資料 パソコン	研究計画書を作成する	
	各コマにおける授業予定	混合型の研究			
第 2 0 回	授業を通じての到達目標	研究の種類とデザイン⑤	テキスト 配布資料 パソコン	研究計画書を作成する	
	各コマにおける授業予定	ケースレポート、ケーススタディ			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 2 1 回	授業を通じての到達目標	研究の種類とデザイン⑥	テキスト 配布資料 パソコン	研究計画書を作成する
	各コマにおける授業予定	尺度開発		
第 2 2 回	授業を通じての到達目標	研究の種類とデザイン⑦	テキスト 配布資料 パソコン	研究計画書を作成する
	各コマにおける授業予定	尺度作成の手続き、信頼性、妥当性		
第 2 3 回	授業を通じての到達目標	研究の種類とデザイン⑧	テキスト 配布資料 パソコン	研究計画書を作成する
	各コマにおける授業予定	システムテックレビュー、メタアナリシス		
第 2 4 回	授業を通じての到達目標	研究の種類とデザイン⑨	テキスト 配布資料 パソコン	研究計画書を作成する
	各コマにおける授業予定	データベース研究		
第 2 5 回	授業を通じての到達目標	研究計画を作成する	テキスト 配布資料 パソコン	研究計画書を作成する
	各コマにおける授業予定	研究計画を作成する		
第 2 6 回	授業を通じての到達目標	研究計画を作成する	テキスト 配布資料 パソコン	研究計画書を作成する
	各コマにおける授業予定	研究計画を作成する		
第 2 7 回	授業を通じての到達目標	研究計画を作成する	テキスト 配布資料 パソコン	研究計画書を作成する
	各コマにおける授業予定	研究計画を作成する		
第 2 8 回	授業を通じての到達目標	研究計画を完成させる①	テキスト 配布資料 パソコン	研究計画書を作成する
	各コマにおける授業予定	研究計画書を発表する		
第 2 9 回	授業を通じての到達目標	研究計画を完成させる②	テキスト 配布資料 パソコン	研究計画書を作成する
	各コマにおける授業予定	研究計画書を発表する		
第 3 0 回	授業を通じての到達目標	研究計画を完成させる③フィードバックを受ける	テキスト 配布資料 パソコン	研究計画書を作成する
	各コマにおける授業予定	研究計画の内容についてフィードバック		